Imagica Robot Holdings Inc.

NEWS RELEASE

各　位

平成 25 年 12 月 2 日

会　　社　　名　株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
代表者の役職氏名　代 表 取 締 役 社 長　長 瀬 朋 彦
（コード番号：６８７９　東証第二部）
問 合 わ せ 先　取締役常務執行役員 経営企画本部担当　角 田 光 敏
Ｔ　Ｅ　Ｌ　０３－６７４１－５７５０

IMAGICAウェストが 4K対応フィルムスキャンシステムを開発、サービス開始

株式会社IMAGICAウェストは、4Kに対応するフィルムスキャンシステム「Cine Vivo（シネ・ヴィーボ）」を自社開発し、12月1日（映画の日）よりサービスを開始しましたので、お知らせいたします。

「Cine Vivo」は、IMAGICAウェストが自社開発した4K対応のフィルムスキャンシステムで、フィルムの良さを最大限に生かし高諧調、高解像度のままデジタル変換することができるシステムです。DCP（デジタルシネマパッケージ）や映像データの保存はもとより、フィルム撮影による映像制作に対して最適なワークフローをご提供いたします。

（添付資料　全１枚）
株式会社 IMAGICA ウェスト　ニュースリリース
『4K対応フィルムスキャンシステムを自社開発』

以上



2013 年 12 月 1 日

株式会社ＩＭＡＧＩＣＡウェスト

４Ｋ対応フィルムスキャンシステムを自社開発

株式会社 IMAGICA ウェスト（大阪市北区、代表取締役社長：稲土広己、以下 IMAGICA ウェスト）は、4K に対応するフィルムスキャンシステム「Cine Vivo」を自社開発し、12 月 1 日映画の日よりサービスを開始いたしました。

映像技術の急速な進歩により、映画やＣＭなどの映像作品おいて HD の 4 倍の情報量を持つ４Ｋ映像に注目が集まる中、豊富な情報量を持つフィルムを高解像度のままデジタル変換するフィルムスキャンのニーズが高まっています。

「Cine Vivo」は、IMAGICA ウェストが 1935 年の創業以来培ってきたフィルムラボとしてのノウハウと長年に亘るポストプロダクションとしての経験をもとに自社開発した４Ｋ対応のフィルムスキャンシステムです。フィルムの良さを最大限に生かし高諧調、高解像度のままデジタル変換することができ、DCP や映像データの保存はもとより、フィルム撮影による映像制作に対して最適なワークフローをご提供いたします。

「Cine Vivo」の特長は１秒２４コマのリアルタイムのスキャン、Super35ｍｍ相当の CMOS イメージセンサー搭載で、高画質スキャンを実現しました。プロジェクションにウェット・ゲートを使用することで、粒状性を目立たせずにフィルムのもつなめらかな質感を再現することが可能になりました。また 16bit リニア RAW での 4K/2K 収録で高諧調なグレーディングワークフローも確立しており、映画やＣＭなどのフィルム撮影後のクリエイティブな映像表現をサポートいたします。

旧作映画や記録映像などのアーカイブコンテンツにおいては、ネガフィルムのタイミング色補正データを反映できるので、貴重な映像資源となるフィルム作品を、制作当時の色やトーンそのままの鮮やかな映像によみがえらせます。また、ウェット・ゲートを通すことでフィルムのごみや傷が軽減し、高品質な仕上がりとなります。アニメーション作品や 16ｍｍフィルムでは、ムーブメント部にレジストレーション・ピンを用いることでユレのない安定したスキャンが可能になるなど、「Cine Vivo」は質の高いアーカイブ作業にも貢献いたします。

IMAGICA ウェストは今年 2 月の新現像機導入をスタートに、今後も映像制作におけるフィルム撮影の存続や、フィルムで制作された貴重な映画や映像を後世に残すために、フィルムラボとポストプロダクション併設の強みを生かし、更なる技術とサービスの向上に努めてまいります。

本件に関するお問い合わせ
株式会社 IMAGICA ウェスト　経営管理部
TEL：06-6353-1714　　E-mail：info@imagicawest.com
担当：五郎丸・藤井